

Translated Children's Books Forum

第⑥回JBBY

子どもの本の翻訳フォーラム

ノンフィクションの

翻訳を考える

2024年

1月21日(日)午後2時~4時半 ■オンライン

(1月30日火正午まで見逃し配信あり)

【パネリスト】小川真理子(科学読物研究会会員)

さくまゆみこ(英語翻訳家) 竹内薫(サイエンス作家)

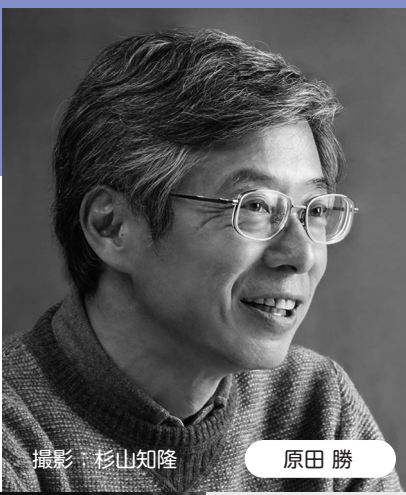
原田勝(英語翻訳家) 藤田千枝(翻訳家・作家)

【コーディネーター】堀内まゆみ(元岩波書店編集者)

【対象】大人(高校生以上可)

【参加費】2,090円(JBBY正会員または法人会員は1,540円)

子どもの本のだいたいな柱のひとつにノンフィクションがあります。自然科学、社会科学、歴史などを読者につたえるこの分野は、子どもたちが今を生き、未来をきりひらくために重要な役割をになっています。今回のフォーラムでは、このジャンルの翻訳にかかわる方々に、原書の探し方や、翻訳の工夫と注意点、そして海外のノンフィクション作品を日本の子どもたちに紹介する意義についてうかがいます。



撮影：杉山知隆

原田勝



さくまゆみこ



藤田千枝



竹内薫



小川真理子

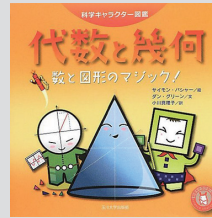


『ハーレムの闘う本屋』
ヴォーンダ・ミシヨウ・ネルソン 文
R・グレゴリー・クリスティ 絵
原田 勝 訳
あすなろ書房 2015 年

原田 勝 (はらだ・まさる)

(英語翻訳家)

1957年生まれ。東京外国語大学卒。英語圏の児童書・ヤングアダルト文学を翻訳。主な訳書は、読み物では『弟の戦争』『二つの旅の終わりに』(徳間書店)、『チャンス——はてしない戦争をのがれて』(小学館)、『ペーパーボーイ』『クロスオーバー』(岩波書店)、『ハーレムの闘う本屋』(第5回 JBBY賞)『キャバとゲルダ、ふたりの戦場カメラマン』(あすなろ書房)、絵本では『星の使者——ガリレオ・ガリレイ』(徳間書店)、『夜のあいだに』(コフレイン書房)、『ぼくは川のように話す』(偕成社)、『セント・キルダの子』(岩波書店) など。JBBY会員。

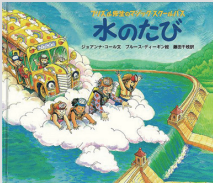


『代数と幾何』
ダン・グリーン 文
サイモン・パシヤー 絵
小川真理子 訳
玉川大学出版部 2012 年

小川真理子 (おがわ・まりこ)

(科学読物研究会会員)

東京大学工学大学院修士課程修了。工学博士。東京工芸大学名誉教授。科学読物研究会の会員として子どもと科学の本をつなげる活動を行っている。また家庭文庫を通して、地域の子もたちと科学遊び、工作を楽しんだり、自然の不思議を発見したりしている。訳書に『代数と幾何』、『海の世界』『ステイプンソンと蒸気機関車』(いずれも玉川大学出版部)、著書に『学校の世界地図』(大月書店)、『変身のなぞ』(玉川大学出版部)『算数ずかん』(あかね書房) など。



『水のたび』
『フリスル先生のマジックスクールバス』シリーズ
ジョアンナ・コール 文
ブルース・ディーギン 絵
藤田千枝 訳
岩波書店 1995 年

藤田千枝 (ふじた・ちえ)

(翻訳家・作家)

お茶の水女子大学理学部化学科修士課程卒業。数年後、科学読物研究会に入会する。「子どもたちに良質な科学の本を」という理念で作られた会だが、当時はまだ子どものための科学の本が少なかったため、海外からの翻訳を始めた。その後自分でも子どもの本を作り、科学の楽しさを伝えようと努力してきた。訳書約 70 点、著書・編集書約 50 点。



『わたしは反対!』
デビー・リヴィ 文
エリザベス・バドリー 絵
さくまゆみこ 訳
子どもの未来社 2022 年

さくまゆみこ (さくま・ゆみこ)

(英語翻訳家)

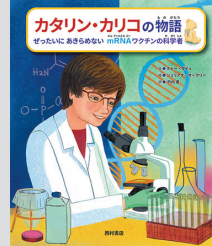
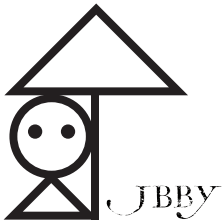
元青山学院女子短期大学子ども学科教授。アフリカ子どもの本プロジェクト代表。出版社に勤めながら翻訳を始め、訳書は『わたしは反対!』(子どもの未来社)、『いつかきっと』(あすなろ書房)、『パッチワーク』(岩波書店)、『子どもの本で平和をつくる』(小学館)、『マリー・キュリー』(光村教育図書)、『ホーキング博士のスペース・アドベンチャー』シリーズ(岩崎書店)、『クロニクル千古の闇』シリーズ(評論社) など約 250 点。著書に『エンザロ村のかまど』(福音館書店) など。JBBY 理事。

コーディネーター

堀内まゆみ (ほりうち・まゆみ)

(元岩波書店編集者)

国立国会図書館を経て、岩波書店に入社。新日本古典文学大系、児童書、ジュニア新書の各編集部で書籍を編集。その後、広辞苑大学、夏目漱石記念年(生誕 150 年・没後 100 年)など、さまざまな本のプロモーションに関わる。岩波書店の web メディア「web 岩波たねをまく」の設立メンバーとして編集長を 4 年間つとめた。趣味は、ドイツ語と広東語に触れること、学ぶこと。JBBY 理事。



『カタリン・カリコの物語 ぜったいにあきらめない mRNA ワクチンの科学者』
デビー・タディ 文
ジュリアナ・オークリー 絵
竹内 薫 訳 山内豊明 監修
西村書店 2023 年

竹内 薫 (たけうち・かおる)

(サイエンス作家)

猫好きサイエンス作家。長年、サイエンスを紹介する本を書いてきたが、娘の誕生とともに、自然と子ども向けの絵本の翻訳、監修などの仕事が増えてきた。YES International School 校長。訳書に『カタリン・カリコの物語 ぜったいにあきらめない mRNA ワクチンの科学者』(西村書店)、『ネズミなんびきでゾウになる? 算数がわかる数のえほん』(小学館)、監訳に『きみは宇宙飛行士! 宇宙食・宇宙のトイレまるごとハンドブック』(偕成社)、監修に『地球の未来を考える』シリーズ(西村書店) など。

お 申 し 込 み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。
クレジットカード決済と振り込みをお選びいただけます。
<https://jbbyonline044.peatix.com>

* 当日は、Peatix にログインして視聴ページよりご覧ください。



JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム

JBBY は、子どもたちには、日本の作家による創作と並んで、海外の本も必要だと考えています。子どもの本は子どもにとって、「今」「ここ」とは違う世界を見ることのできる「窓」であり、価値観や視点の違う海外の作家による翻訳の子ども本は、日本の作家とは別の窓を開いてくれるからです。なぜその「窓」が必要なのか、翻訳家や作家が集まって話し合うフォーラムです。



▶ 主催・問合せ先

日本国際児童図書評議会 (JBBY)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F

Tel: 03-6273-7703 Email: info@jbbby.org

Website: <https://jbbby.org/>

JBBYとは——

日本国際児童図書評議会の略称。IBBYの日本支部として1974年に創設されました。会員(現在、個人約500人、法人約70社)の支援と協力に支えられ、「子ども・本・平和」をキーワードに、子どもの本に関する国際協力機関として国内外で活動を続けています。「国際アンデルセン賞」をはじめとする子どもの本の国際的な賞に日本の作品や作家を推薦したり、英文のブックリストを発行したりして、日本の子どもの本に関する情報を海外へ発信しています。国内では、「世界の子どもの本展」や「バリアフリー児童図書展」の巡回、講座や講演会の開催、ブックリストの発行などを通じて世界の優れた児童書を日本の出版関係者や読者に紹介しています。

facebook.com/JBBYpi/

twitter.com/JBBYpi

instagram.com/jbbby_kodomonohon



Website

